

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニュース

No.878

'11.9.7

9月定例市議会は9日金から

台風12号は紀南地方に大きな被害を残すとともに、いきに秋をつれてきたようです。朝晩かとも涼しくなりました。2日(金)9月定例市議会の日程案を決める議会運営委員会が開かれ(2)面のとおり、9日(金)から30日(金)まで開かれます。

わかやま住民要求研究会 第10回

9月4日(日)マリナーシティのわかやま館で、第10回わかやま住民要求研究会が開かれ、党議員団のみなさんと一緒に、私ひめだも参加しました。この集会は、県大運動実委、自治研、革新懇、県つくま会の4団体が実行委員会をつくり開かれたものです。前日の台風の影響で記念講演の講師をはじめ何人もの方が欠席するハイキングがありました。午前中の全

フリーの人々



定期検診で、
相当医が
太りすぎも
あまりよく
ありません

どうして
やほり
の、ヘルプ
っていいんですか?

この際思いきって
る食、食べない!!
...これは無理から
間食しません

わかやまに
エサを
与えないで!!



和歌山経済学部・大泉教授

体集会で、記念講演は和歌山大学の大泉教授が、3日の大震災は日本社会や地域にどんな問題をつまづけているのかということばかりやすく話してくれました。

午後は、①子育て・教育 ②医療・福祉・介護、③産業・経済・町づくり、④環境・防災の4つの分科会が開かれ、私、ひめだは③の分科会で、海南民商・石田

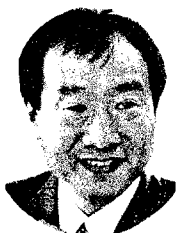
さん、「住宅リフォームと地域振興」、県地評・杉上 報告を聞きまし。

こんにちは 日本共産党の ふじい健太郎 です。(その303)

9月2、4日の台風12号は全国に大きな被害をもたらしました。特に紀伊半島では雨量が2000ミリと1年間の3/4もの雨が降り注いだ地域もあり、和歌山県内では那智勝浦町、新宮市、田辺市をはじめ紀南地方での被害が甚大でした。

テレビで映し出される映像を見ると、東日本大震災で津波に襲われた町の様相を思い出させます。県内の河川流域では土砂崩れ、堤防決壊、大量の雨による家屋の流失、床上浸水をはじめ電気・水道・通信などのラ

県内の急傾斜地の全てに対策がとられているわけではなく、今回のように想定されていない地域でも深層崩壊が起こるなど油断できない状況にあります。市内でも数多くある「ため池」や中小河川の改修が急がれています。「災害に強い町づくり」が重要課題です。

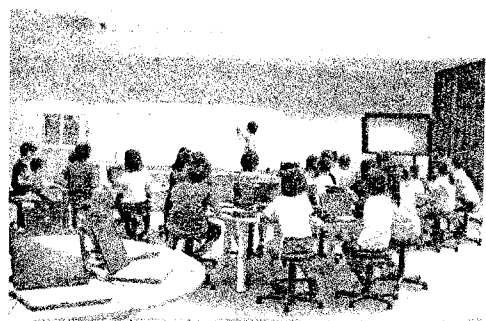


ふじい健太郎 前県議員

パソコン使った授業を視察

9月7日(水)午前中、市議会経済文教委員会で、藤戸台小学校ICT教育活

用の現状を視察するといっので、私、ひめだも参加しました。ICTというのは、インターネットやコンピュータなどの情報コミュニケーション技術のことだとか。藤戸台小学校は、今年4月に開校した学校で、広い敷地に2階建(軽量鉄骨)



4年1組の公開授業。右奥が電子黒板。前列のパソコンが大型のコンピュータ画面。手前左のパソコンが授業

のゆったりした校舎、地域住民用の会議室(障害者用

トイレあり)なども備えた施設を校長先生の案内で見学しました。その後、パソコン教室で4年ノ組の公開授業「タブレットパソコンを使った漢字学習を見せよう」という、実際にパソコンの操作で、漢字、算数、社会のテストをさせてもらいました。子ども達は、それぞれパソコンを器用に扱い、また全体の学習にも意欲的に取り組んでいました。「時代は変わったナ」が実感。

こどもには日本共産党



台風12号による豪雨災害が県下を襲い、6日前夕7時県庁発表で、死者24人、行方不明者34人、負傷者6人の被害者が出て、道路や電気、電話は

寸断されたままです。捜索がもっと進めば、被害の拡大が予想され、痛ましい限りです。田舎にいる親族を心配して連絡を取ろうとしても、停電のために連絡不能となりました。携帯電話も中継電波塔の電源がおちれば、通じません。最優先の人命救助のためには、被災状況

の把握が欠かせません。集落毎に衛星電話を常備することが必要なことがわかりました。また避難所が浸水したところもありました。山の崩落で川の流れが変わり、民家を直撃したケースもありました。「人命第一」の防災対策をたてなければなりません。

9月定例市議会日程(案)

月日(曜)	会	議
9.9(金)	本会議	議案説明(一般質問通告締切)
13(火)	"	一般質問
14(水)	"	"
15(木)	"	"
16(金)	"	一般質問、質疑、委員会付託
20(火)	"	"
21(水)	常任委員会	"
22(木)	"	"
26(月)	"	"
27(火)	特別委員会	"
28(水)	"	"
30(金)	本会議	委員長報告、討論、採決

私、ひめだは経済文教委員です



ゆこう・山崎法律事務所 5周年

9月3日(土)夜、ゆこう・山崎法律事務所創設5周年記念企画「ナターシヤ・グジー東日本大震災復興支援チャリティコンサート」がアバローム紀の国で開催。私、ひめだも参加。ナターシヤさんは、ウクライナ生まれ、6歳の時、父親が勤務していたチェルノブイリ原発で、爆発事故が起こり、原発から3.5kmで被爆。8歳からウクライナの民族楽器バンドウラを習い、2000年より日本語学校で学びながら日本で本格的な音楽活動をしてきたとのこと。細身の長身で歌声は、すき通る高音、楽器は50をこす弦楽器でした。